

「外国語（英語）」

■プログラムの名称 「外国語（英語）」

概要	<p>外国語（英語）副専攻プログラムは、1年次の必修科目——「アカデミック英語（リーディング、リスニング、ライティング）」と「基礎英語」——を履修した後、さらに英語学習を継続し、卒業時までに、準上級以上の英語運用能力を身につけるためのプログラムです。</p> <p>このプログラムでは、英語による実用的なコミュニケーションスキルの向上に加えて、英語の仕組みや英語圏の文化、社会、経済などに関する理解を深めることを重視しています。多様な文化に対する理解と実践的な英語運用能力を身につけ、様々な分野で国際社会に貢献できる人材を育成します。</p>
----	---

ねらい	<p>外国語（英語）副専攻プログラムは、特定の学問分野や職種に限定されることなく、幅広い知識と教養に裏打ちされた高度な英語運用能力を育成することをねらいとしています。</p> <p>そのため本副専攻プログラムでは、英語による実践的なコミュニケーション能力を伸長する授業に加えて、言語、文化に関する幅広い知識を習得してもらうために、英米文学、言語学、経済、ビジネスなど、多様なジャンルの英語に触れるための授業を用意しています。</p>
-----	--

到達目標	<p>外国語（英語）副専攻プログラムでは、英検の準1級程度、TOEICの700点台に相当する準上級以上の英語運用能力の習得を目標としています。具体的には、日常的な場面で話される英語をおおむね理解し、それに対して応答できること、一般的な文章をほとんど辞書を用いずに読むことができること、さらに、文法や語彙の選択に配慮しながら、用途に合ったスタイルの英文を書くことができること、などです。</p>	副専攻委員会委員	<p>○大竹 芳夫 本間 伸輔 平野 幸彦 ハドリー浩美</p>
------	--	----------	--

認定条件及び評価の方法	<p>【各プログラム共通の認定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 <p>【各プログラム独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コア科目から、属性区分「R」科目と「C」科目を含む、「12単位」以上を修得していること。 ・人文学部人文学科西洋言語文化学専攻プログラムに所属する学生のうち英語に関わる論題で卒業論文を執筆する者、及び教育学部学校教育養成課程教科教育コース英語教育専修の学生については、本プログラムによる副専攻認定は行わない。
-------------	---

プログラムの紹介	<p>英語をある程度自由に駆使できるということは、グローバル化された世界で大変有利な武器になります。英語で外国の人々と直接コミュニケーションを取る必要がない場合でも、インターネットを利用する際に英語が使えれば、私たちがアクセスできる情報の世界は飛躍的に広がります。インターネットでニュースを見たり聞いたりするだけでなく、教育を受けて、学位を取得することも可能なことは皆さんも聞いたことがあると思います。英語が使えると、単に視野が広がるというだけでなく、キャリアアップのチャンスをつかむことも可能になるのです。しかし、このようなことを可能にするためには最低でも準上級以上の英語力が必要となります。</p> <p>皆さんの多くの英語力は、中級の下から中級の中といったレベルにあると思います。それを準上級以上に上げるためには、何にもまして英語学習を継続することが重要です。多くの人は、1年次に「アカデミック英語（リーディング、リスニング、ライティング）」と「基礎英語」を受けただけで英語の勉強を止めてしまいます。英語が大嫌いとか大の苦手という人はしかたありませんが、英語に興味があったり、さらに英語力を伸ばしたいと思っている人は、英語学習を1年次で止めてしまうのは本当にもったいないことです。</p> <p>“Practice makes perfect.”、あるいは“Rome was not built in a day.”（「継続は力なり」）と言います。本副専攻プログラムを活用しながら、皆さんの英語力を総合的に高めていきましょう。</p> <p>外国語（英語）副専攻プログラムを修了するためには、24単位取得しなければなりません。2年次と3年次で単位をすべて取得すると仮定すると、毎学期、週3回、外国語（英語）副専攻プログラム関係の科目を履修すればよいことになります。授業の準備を考えると大変そうですが、継続という観点から見るとこれでも不十分でしょう。自主的に学習時間を補うように努力してください。実際に科目を履修する際には、ある程度自分の興味やニーズに合わせて授業を選ぶことができます。英会話中心に履修するなら、「発展英語」や「応用英語」、「国際コミュニケーション」などのネイティブスピーカーの授業を中心に受講するとよいでしょう。英語圏の文化や英語という言語自体に興味があれば、「英米言語文化基礎演習」、「英米文化論」、「英米言語論」、「異文化論」などの授業を中心に聴講することができます。ビジネス英語に興味がある人は、「国際コミュニケーション」の授業でビジネス英語の基礎を学ぶことができます。</p> <p>外国語（英語）副専攻プログラムが目標とする準上級というレベルは、英検の準1級やTOEICの700点台に相当します。そのレベルに達したかどうかを審査するための最終試験のようなものは今のところ実施していませんが、その代わりに「応用英語」が必修になっています。「応用英語」はTOEIC700点台の学生を対象とした少人数による上級クラスです。</p> <p>英語学習を一人で継続することはなかなか困難です。皆さんが英語学習を継続し、準上級以上のレベルに到達するのを手助けすることが本副専攻プログラムの大きな目的です。一人でも多くの人がこのプログラムにチャレンジして、副専攻認定という最終ゴールに到達してくれることを期待しています。</p>
----------	--

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

※海外研修については、当該教育施設及び教育課程の審査の上、単位を認めることがあります。
 また、副専攻の単位認定のための海外研修を考えている場合は、渡航前に必ずプログラム代表教員に相談してください。
 なお、海外研修の単位認定申請は、卒業年次に限らず、副専攻「外国語」プログラムの「海外研修」単位認定申請期間中（P62 Q17参照）です。詳細は別途掲示板及び学務情報システムから通知します。

属性区分 R・C：必修科目/★：所属学部の必須単位以外のものをカウント
 A：「発展英語」を除き、原則として第3セメスター以降に学習すべき科目/B：第5セメスター以降に学習すべき科目
 Gコード科目のうち、「発展英語」は卒業要件に加えて4単位まで重複履修できます。「応用英語」については重複履修の制限はありません。
 Hコード科目（人文学部専門科目）については、「英米言語文化演習」を除き、重複履修はできません。
 Kコード科目（教育学部専門科目）については、重複履修はできません。
 Eコード科目（経済学部専門科目）については、「外書講読Ⅰ」及び「外書講読Ⅱ」は8単位まで、「異文化論」は、異なる教員の科目を履修した場合に限り8単位まで重複履修できます。

分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	曜	限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	150Q9023	英語文化研究【入門科目】	1	第2学期	水	H・T	演習	平野 幸彦	人社・教育系（人）	70 03
2	コア	A★		発展英語※	2			演習		※所属学部の卒業要件以外のものをカウント	70 04	
3	コア	C		応用英語	2			演習			70 05	
4	コア	A	150G0163	実践英語セミナー	2	第1学期	水	3	演習	ハドリー 浩美	教育・学生支援機構	70 04
5	コア	A	150G0664	実践英語セミナー	2	第2学期	水	4	演習	ハドリー 浩美	教育・学生支援機構	70 04
6	コア	A	150G0160	英語表現セミナーA	2	第1学期	水	4	演習	G. ディック	非常勤講師	70 04
7	コア	A	150G0665	英語表現セミナーA	2	第2学期	水	4	演習	G. ディック	非常勤講師	70 04
8	コア	A	150G0161	英語表現セミナーB	2	第1学期	水	3	演習	I. ガラオン青木	非常勤講師	70 04
9	コア	A	150G0666	英語表現セミナーB	2	第2学期	水	3	演習	I. ガラオン青木	非常勤講師	70 04
10	コア	A	150G0162	英語表現セミナーC	2	第1学期	水	4	演習	I. ガラオン青木	非常勤講師	70 03
11	コア	A	150G0667	英語表現セミナーC	2	第2学期	水	4	演習	I. ガラオン青木	非常勤講師	70 03
12	コア	A	150H5341	英米言語文化基礎演習A	2	第1学期	水	3	演習	平野 幸彦	人社・教育系（人）	29 13
13	コア	A	150H5342	英米言語文化基礎演習B	2	第2学期	水	3	演習	土橋 善仁	人社・教育系（人）	30 13
14	関連	B	150K6653	英語教育リーディング演習Ⅰ	1	第1学期	木	3	演習	成田 圭市	人社・教育系（教育）	40 13
15	関連	B	150K6654	英語教育リーディング演習Ⅱ	1	第2学期	木	3	演習	成田 圭市	人社・教育系（教育）	40 13
16	関連	B	150K6655	英語教育リーディング演習Ⅲ	1	第1学期	月	4	演習	岡村 仁一	人社・教育系（教育）	40 14
17	関連	B	150K6656	英語教育リーディング演習Ⅳ	1	第2学期	月	4	演習	岡村 仁一	人社・教育系（教育）	40 14
18	関連	A	150K6601	英語教育と英文法Ⅰ	2	第1学期	火	3	講義	本間 伸輔	人社・教育系（教育）	40 03
19	関連	A	150K6602	英語教育と英文法Ⅱ	2	第2学期	火	3	講義	本間 伸輔	人社・教育系（教育）	40 03
20	関連	※		海外研修				実習				70 04
21	関連	A	休講	西洋文化概説	2			演習				29 03
22	関連	A	150H5222	西洋言語概説	2	第1学期	火	3	講義	G. ハドリー	人社・教育系（人）	29 03
23	関連	A	150H5223	英米文化概説A	2	第1学期	木	3	講義	市橋 孝道	人社・教育系（人）	29 03
24	関連	A	休講	英米文化概説B	2			講義				29 03
25	関連	A	150H5225	英米言語概説A	2	第1学期	月	4	講義	秋 孝道	人社・教育系（人）	30 03
26	関連	A	休講	英米言語概説B	2			講義				30 03
27	関連	B	休講	英米文芸論	2			講義				29 04
28	関連	B	150H5516	英米文化論A	2	第2学期	金	3	講義	平野 幸彦	人社・教育系（人）	29 04
29	関連	B	150H5517	英米文化論A	2	集中講義		講義	金澤 俊吾	非常勤講師		29 04
30	関連	B	150H5518	英米文化論B	2	第2学期	木	3	講義	G. ハドリー	人社・教育系（人）	29 04
31	関連	B	休講	英米言語論	2			講義				30 04
32	関連	B	150H5712	英米言語文化演習	2	第1学期	金	4	演習	秋 孝道	人社・教育系（人）	29.30 14
33	関連	B	150H5717	英米言語文化演習	2	第2学期	金	4	演習	秋 孝道	人社・教育系（人）	29.30 14
34	関連	B	150H5711	英米言語文化演習	2	第1学期	木	2	演習	土橋 善仁	人社・教育系（人）	29.30 14
35	関連	B	150H5716	英米言語文化演習	2	第2学期	木	2	演習	土橋 善仁	人社・教育系（人）	29.30 14
36	関連	B	150H5713	英米言語文化演習	2	第1学期	火	4	演習	平野 幸彦	人社・教育系（人）	29.30 14
37	関連	B	150H5718	英米言語文化演習	2	第2学期	火	4	演習	平野 幸彦	人社・教育系（人）	29.30 14
38	関連	B	150H5714	英米言語文化演習	2	第1学期	月	3	演習	市橋 孝道	人社・教育系（人）	29.30 14
39	関連	B	150H5719	英米言語文化演習	2	第2学期	月	3	演習	市橋 孝道	人社・教育系（人）	29.30 14
40	関連	B	150H5715	英米言語文化演習	2	第1学期	水	2	演習	G. ハドリー	人社・教育系（人）	29.30 14
41	関連	B	150H5720	英米言語文化演習	2	第2学期	水	2	演習	G. ハドリー	人社・教育系（人）	29.30 14
42	関連	A	150E1152	外書講読Ⅰ（英）	2	第1学期	水	2	講義	辻 照彦	人社・教育系（経）	36 04
43	関連	A	150E1150	外書講読Ⅰ（英）	2	第1学期	火	3	講義	大竹 芳夫	人社・教育系（経）	36 04
44	関連	A	150E1154	外書講読Ⅱ（英）	2	第2学期	水	4	講義	恩田 公夫	人社・教育系（経）	36 04
45	関連	A	150E1156	外書講読Ⅱ（英）	2	第2学期	水	2	講義	辻 照彦	人社・教育系（経）	36 04
46	関連	A	休講	異文化論	2			講義				33.36 04
47	関連	A	150E1201	異文化論	2	第2学期	火	3	講義	大竹 芳夫	人社・教育系（経）	33.36 04
48	関連	A	休講	国際コミュニケーション講義Ⅰ（英）	2			講義				37 04
49	関連	A	休講	国際コミュニケーション講義Ⅲ（英）	2			講義				37 04
50	関連	A	休講	国際コミュニケーション講義Ⅴ（英）	2			講義				37 04
51	関連	B	休講	国際コミュニケーション講義Ⅵ（英）	2			講義				37 04
52	関連	B	150E1164	国際コミュニケーション演習Ⅱ（英）	2	第2学期	月	4	演習	山田 陽子	人社・教育系（経）	37 04
53	関連	B	150E1165	国際コミュニケーション演習Ⅲ（英）	2	第1学期	月	3	演習	G. ケント	非常勤講師	37 04
54	関連	B	150E1166	国際コミュニケーション演習Ⅳ（英）	2	第2学期	月	3	演習	G. ケント	非常勤講師	37 04